



## 「話」と「話し」の使い方はどうちがうの

### 名詞の場合は「話」

ことばで話すことがらを、「話」といいます。この場合、「話」ということばは、ものやことの名前を表すことばですから、名詞といえます。

「旅の話をする」「浦島太郎の話」「話をまとめる」「近く引っこすという話だ」「そういう話ですか」などのように使います。

名詞の場合は「話」と書き、「話し」とは書きません。

### 動詞の場合は「話す」「話し合う」

ことばで言って伝えることを、「話す」といいます。このように、動作などを表すことばを、動詞といえます。

「わけを話す」「話せばわかる」「思い出を話し合う」などのように使います。

名詞の「お話」とちがい、動詞の場合は、「お話しします」と「し」を送って書きます。

「お話しします」はあやまりです。気をつけましょう。（監修・田代 脩）

